

冬休み高校生 学習支援ボランティア

今年度も、高校生の冬休み学習支援ボランティアが、羅小・春小の両小学校を会場に実施されました。羅臼小学校に3名、春松小学校に2名の高校生が学習サポートとして入ってくれました。実施されたのは、12月26日(月)、27日(火)の2日間です。羅臼小学校は、午前中。春松小学校は、午後から実施されました。

高校生は、問題の答え合わせをしたり、わからないところを教えたりとそれぞれ真剣に取り組んでいました。



羅臼小学校



春松小学校

小学校と並行して中学校でも、学習会が開催されました。



春松中学校(ブログより)



羅臼中学校(ブログより)

どうきんの寄贈がありました。

昨年12月14日に、幼稚園・学校などで活用して下さいとそうきんの寄贈がありました。寄贈してくれたのは、町内で活動しているグループサンシャイン(代表 三好正美氏 会員30名)です。寄贈をいただいたそうきんは、およそ300枚ほどです。会員のみなさんで、この1年間で作りためたものです。毎年寄贈していただいています。

そうきんは、早速町内の幼稚園・小中学校に配布させていただきました。年末の大掃除等に活用していただけたことと思います。ありがとうございました。



中高一貫生徒会リーダー研修会

羅臼町では、町内の中学校2校と羅臼高校との間で連携型一貫教育を実施しています。連携して行われる活動の一つとして、生徒会交流があります。3校の生徒会の役員18名が集まり、リーダー研修会が13日(金)に公民館を会場に行われました。研修会は、最初に湊屋町長の『今までの羅臼、これからの羅臼』と題しての講話を聴きました。講話では、湊屋町長が考える今後のまちづくりについて「Kプロジェクト」のことなどについて話されました。その後の研修では『中高一貫生徒会の意義』と題し、その目的や活動について理解を深めました。

最後は、4・5人のグループに分かれ、「ワールドカフェ」という話し合いの手法を用いて、設定テーマについて話し合いを深め、自分の考えている意見を出し合いました。

町長さんの話もヒントに、中高校生とは思えない斬新なアイデアも飛び出すなど活発な意見交換が行われました。



寺子屋kids(冬)が夏に引き続き11日から13日の3日間の日程で行われました。

この事業は、
①図書室を活用しながら本に親しむ機会を提供し、図書室の利用促進を図ること
②読み聞かせと体験学習を連動させることで、日本の伝統食に対する気づきを促し食育を行うこと
③読み、書きに加え生活文化を体験できること

以上の目的で寺子屋として3日間行われました。

羅臼町教育委員会の主催で、ボランティアとしてこぐまちゃんサークルやスポーツ推進委員、羅臼町PTA連合会及び個人で協力していただけた方々と連携して行いました。

参加したのは、小学校1年生から3年生までの12人です。風邪を引いたりしてこれない人もいましたが、毎日楽しく参加していました。

今回の主なプログラムは、ラジオ体操、学習の時間、読み聞かせ、昼食準備、手作りえほん制作、昼食などがあります。

読み聞かせでは、今回は料理にちなんだ絵本を選びました。読んだ本は、「こんぶのぶーさん」「やさいさん」「いろいろたまご」「ぐんぐんせがのびるひみつ」「まいにちいきいきねむりのひみつ」「もったいないばあさん」です。今回の料理のテーマは、『だし』でした。1日目は、「すまし汁」2日目は、1日目です。使っただしがらで作る「佃煮」。3日目は、「だしをアレンジ(ジュレ)」鶏ハム+ジュレソースでした。

読書登山もあわせて行っており、全員で夏冬あわせて羅臼岳登頂を目指しました。夏は、4393ページ、冬は、4135ページ。頂上まで後762ページでした。

9時が集合時間なのですが、その前にきてしっかりと勉強をしている人がたくさんいました。

3年生は、この次は知床kidsに参加してほしいですね。1・2年生はまた来年も参加して楽しく過ごしてほしいですね。



ユネスコスクール研究発表会

ユネスコスクール研究発表会が23日（月）に公民館大ホールを会場に実施されました。

当初12月10日の予定でしたが、インフルエンザの猛威でこの日に延ばしたものです。当日は、低気圧の影響で大雪警報は出ていましたが、割と風もなく予定通り実施されました。

今年度のユネスコスクール研究発表会は、「ふるさとキャリア教育活動報告」も兼ねて行われました。あいにくの天気で一般の方の参加があまり多くなかったのがとても残念でした。

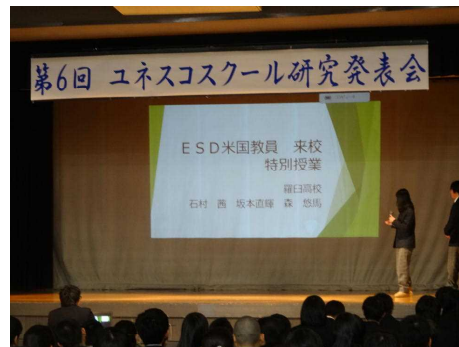
発表会は、湊屋町長と辻中知床ユネスコ協会会長さんのあいさつの後、羅臼小学校5年生の「羅臼のヒグマと共存～ヒグマの生態を探れ」と春松小学校4年生の「ふるさと羅臼再発見～羅臼のみりよくを発信しよう」と努力している人々の発表がありました。両小学校とも、総合的な学習の時間などでテーマを自分たちで考え、それを自分たちで調べたり、実際に話を聞いたりしてまとめ、発表の仕方を工夫していました。

中学校は、総合的な学習の時間にキャリア教育の一環として行っている「職業体験学習で学んだこと」と題して、自分たちの経験をもとに発表していました。

高校の発表では、昨年米国教師が参観にきたときの様子を、英語で発表していました。また、生徒会での取り組みや水産教室での取り組み、創作料理プロジェクトでの取り組みの様子など発表してくれました。

ユネスコスクール研究発表会は、今年で6年目ですが、毎年大変工夫された発表があり年々確実にレベルがアップしているのがわかります。

子どもたちの発表を是非たくさんの方々に聞いていただきたいと思った発表会でした。



高校生が考えたメニューが給食に登場！！

第4回高校生チャレンジグルメコンテストでグランプリを受賞した羅臼高校の創作料理が、2月6日（月）・7日（火）と2日間に分けて提供されました。

6日は、昆布ご飯と昆布スープ
7日は、スケソパイです。

これらの料理は、羅臼のおいしい食材を贅沢に使っています。淡泊で柔らかい身の「スケソ」は、パイ生地とホワイトソースとの相性は抜群です。

昆布スープと昆布ご飯は、他の昆布とだしのうまみが格段に違う肉厚な「羅臼昆布」を使用し、こくのある濃い出汁を感じることができます。（料理の解説は、給食だより2月号より）



昆布ご飯とスープの給食を食べる
羅臼小の児童のみなさん
「おいしい」「めっちゃおいしい」と大評判でした。



スケソパイを食べる
春松小の児童のみなさん
「おいしい」と大評判でした。

羅臼町の公共施設（教育施設）のアスベスト検査結果について

公共施設で集合煙突内断熱材のアスベスト（石綿）含有検査を行いました。

アスベストは、断熱材として公共施設などの建材に広く用いられてきました。

特に耐火用吹き付け建材や集合煙突などに使用された場合は、劣化すると飛散する可能性があり、多量に吸いこむと健康被害に及ぶ恐れもあるため、平成17年以降にはアスベストが含まれる建材の製造が中止されています。

しかし最近、公共施設の老朽化が目立つようになり、道内各地の公共施設の集合煙突でこれら建材の劣化事例が相次いだことを受け、この度、当町の教育施設でも点検を行ったものです。

検査の結果、次の2施設でアスベストを含んだ建材が使われていることが判りました。

◎ 羅臼町民体育館（昭和49年築）

※ 煙突内部に劣化しやすい断熱材として使用されており、将来において、飛散の可能性がうたがわれる。

◎ 羅臼幼稚園（平成3年築）

※ 煙突内部の断熱材として使用されているが、安定性の高い建材に含まれており、飛散する状況にない。

町民体育館は、現在、煙突を使用する暖房設備を停止し、別の方法で暖房を確保してきたところですが、2月6日より煙突内部のアスベスト建材の除去作業に入り、煙突内部の改修工事を行っています。工期は1か月程度となり、この間も通常通り施設利用が可能です。

幼稚園については、固い建材が使用されており、劣化は見られないため、北海道の「石綿障害予防規則」に基づいた定期点検を行い安全確認を行って参りますので、お知らせいたします。

2月1日（水）に2年生で昆布学習を行いました。
羅臼漁協の天然昆布漁業部会長の井田さんが来てくださり、
羅臼昆布の魅力について教えていただきました。
羅臼昆布は知床半島東側でしか取れない昆布で、香りがよく、と
ても美味しい出汁が取れるのが特徴です。
皆、手にとって、昆布の様子を細かく観察していました。
羅臼には、誇れる海産物がたくさんあることを学びました。



(春松中ブログより)

羅臼中学校では 総合的な学習のまとめ



3年生は3年間総合的な学習の時間で学んできたことをまとめて発表しました。「資料を使い、わかりやすくまとめる力」、「表現力」、「自分の町について考える力」、「人と関わる力」など様々な力を身につけ発表にも現れていました。(羅臼中ブログより)